

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月13日

【評価実施概要】

事業所番号	1271202606
法人名	株式会社めいとケア
事業所名	グループホームめいと中金杉
所在地	千葉県松戸市中金杉2-72 (電話) 047-309-5255

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所		
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4千葉県労働者福祉センター5階		
訪問調査日	平成21年1月13日	評価確定日	3月6日

【情報提供票より】(20年12月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年8月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	6 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 6.8 人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨2階建て
	2 階建ての 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	理美容代1,300 + おむつ代5,000	
敷金	無し	有りの場合償却の有無	無し	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(300,000 円)			
食材料費	朝食	400 円	昼食	600 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500 円(おやつ代含む)			

(4) 利用者の概要(12月20日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	2 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.8 歳	最低	75 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	千葉西総合病院・千葉西クリニック・ドクターランド・新松戸中央病院・千葉愛友会記念病院
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成17年8月に開設し、今年4年目のグループホームである。母体法人は、住宅型有料老人ホームを松戸市内に数多く展開しており、グループホーム、デイサービス、介護付有料老人ホームも増え始めている。同ホームは法人初のグループホームで、立上げ時は職員の入替わりが続き、落ち着くまでに時間を要したが、現在は軌道に乗り始めている。今年初めて、外部評価を受審した。松戸市内の静かな住宅街に位置しており、1階がグループホームとデイサービス、2階が有料老人ホームとなっている。周囲は新興の住宅街で、地方在住の親を呼び寄せたケースが多い。新築の建物はきれいで広々しており、全室トイレ付きである。「自由と尊厳」という理念の下、ゆったり・快適に過ごせるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	外部評価受審は、これが初回である。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員全員で意見を出し合い、管理者が記入した。自己評価を通じて、職員らの気がかかっている部分を洗い出し、改善につなげていきたいと考えている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) これまでに2回、開催している。参加者は入居者代表、入居者家族、地域住民代表、認知症ケアの有識者、地域包括支援センター職員等で、議題は、ホームの現況について。事故報告などもきちんと行っている。今後は、消防署にも運営推進会議に参加してもらう予定である。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の面会が多く、意見や要望等は、面会時中心に聞き取りをしている。また、運営推進会議や年1回開催の家族会などでも話を聞いている。意見が出た場合は、記録を取り、運営に反映させるよう対処している。今後は、家族がより率直に不満なども口に出せるよう、機会作りを検討している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 中金杉町内会の一員となり、祭りや掃除等、地域行事に参加している。また、地域のさまざまな社会資源を利用している。

2. 評価結果 (詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員みなで話し合い、入居者の自由と尊厳をホームの理念として掲げている。今後は、地域密着型サービスを意識し、地域連携を強めていきたいと考えている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はホーム内に掲示されている。平成20年1月に創られたばかりということもあり、職員みなで常に意識してケアにあたっている。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	比較的新興住宅街である地元地域とは、自治会にも加入し、友好的な関係にある。地域のさまざまな活動に参加したり、社会資源も利用している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、職員みなで意見を出し合い、管理者が取りまとめた。消防署との連携、避難訓練や緊急時対応の体制確立等、さまざまな意見が交わされた。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議はこれまで2回開催している。参加は、入居者、入居者家族、地域の人々や地域包括支援センター職員など。議題はホームの現況が中心。事故などもきちんと報告し、職員の交替などについても説明を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	松戸市が主催する認知症高齢者グループホーム協議会に参加し、意見交換を行っている。昨年から始まったこの協議会は、今後、3ヶ月に1度程度、テーマを決めて開催されることになっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会が頻繁であり、その時に職員が声かけして、情報交換している。また年1回開催している家族会や、ホーム行事、運営推進会議でも、随時家族に報告をしている。法人全体で作成している通信を、定期的に家族に送付している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見交換の機会は十分に作り、聴取した意見は記録するとともに、運営に反映させている。一方、ホームへの苦情や不満等はあまりない現状である。今後は、苦情や不満も率直に言ってもらえるようなホームにしたいと考えている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設してしばらくは、管理者や職員の入替わりが相次いだ。しかし現ホーム長と管理者(兼 計画作成担当者)になってからは、現場職員の離職がなくなった。現在、入居者に特にダメージは見られない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	現場従業者がより長く勤められるよう、管理者は心のケアに気を配っている。また資格(介護福祉士、介護支援専門員)取得を希望する職員には、勤務シフトに配慮する。内部勉強会も折々行っている。しかしながら、外部研修に行く余裕はなく、研修の機会が充分とはいえない現状である。		職員を育てるに当たっては、スキルや経験に合わせた研修や勉強会が不可欠である。年間研修計画を作成し、全職員が参加する機会を作ることが望まれる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	平成20年7月に、松戸市主催の松戸市認知症高齢者グループホーム協議会が発足し、同業他社とのコミュニケーションの機会が増えている。現在は、管理者による、ケアマネジャー同士の情報交換が中心である。		現場従業者にも交流の機会を作ることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居初日は、不安を軽減するため、家族にも宿泊してもらったりして、ホームに安心して馴染めるよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>同ホームの入居者は教員、医療職に従事した人等もあり、職員が教えられることも数多い。家事や庭仕事等、ホームの日常業務は、職員と入居者で一緒に行うようにしている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の生活や支援で関わる中で、入居者の生活歴など暮らし方や思い、意向の把握に努めている。聞き取りや表現が困難な入居者には職員側から問いかけて、引き出しよう努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族からの希望の把握に努め、職員からも意見を集約しそれらの意見が反映されるよう、センター方式のアセスメントを活用して介護計画の作成をしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>モニタリングを職員の意見を取り入れて3ヶ月に1回行い、介護計画の見直しを図っている。半年に1回短期目標の見直しを行っている。入居者の容態によって、随時、見直しがされている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院への有料送迎や、ホームを退居することになった入居者の次の行き先として、法人本部が展開している有料老人ホームの紹介などを行っている。		ホームとして入居者に、より柔軟なサービス提供を行う余地はないか、また、地域にホーム機能を還元できることはないか、更なる検討が望まれる。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院を中心として適切な医療を受けられる体制は整っている。緊急時に受け入れてくれる総合病院との連携もとれている。送迎は有料で行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアについては、職員の教育や環境調整、ターミナルケアを行うことによる周りの入居者への影響などを考え、行っていない。現状は、医療行為が必要になったら退居となっている。		法人本部はターミナルケアを実践する考えであるため、方針の統一が望まれる。またターミナルケアを行わないのであれば、退居の基準および退居に当たった支援などを、家族に明示する必要があると思われる。
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	各入居者の個人情報、事務所の鍵のかかるロッカーで保管されている。個人の尊厳についても、配慮をしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間以外は、日課の取決め等はなく、みな自由に一日を過ごしている。居室で過ごしている入居者には、おやつの時など、職員が随時声かけし、様子を確認している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員が調理などにかかる分の時間を入居者と接する時間にあてるという、法人本社の方針があり、食事は本部の調理部で作っている。ご飯のみ、ホームで炊いている。入居者個々の食べたい物の要望を聞いて本部に伝えたり、入居者に合わないメニューが出たときはすぐに連絡をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1日1～3人、週2回以上は入浴するようにしている。入居者の状況や希望には、職員の都合を優先することなく、できる限り対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者が出来ること出来ないことを職員が把握しているので、本人が出来ることを探し、掃除や食事の盛りつけ、洗たく物畳み、庭の草むしりなどを職員と一緒にやっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩がてら近所の花屋に花を買いに行くこともあるが、外出に十分な時間がとれない現状である。散歩や買い物は主として入居者の家族が行っている。		これまでは職員の入替わりが多く、個々の外出にまで人手をさけない状況であったが、ここ1年は離職がほとんどないため、外出の機会を増やしていくことが期待される。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中はカギをかけていない。職員が入居者の行動を把握し、見守りをしっかりと行っている。入居者一人を外に出してしまった場合は、無理に連れ戻すことはせず、職員と一緒に歩いて、見守りや声掛けを行うようにしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の立ち会いのもと、年1回防災訓練を行っている。居室のカーテンは防火素材となっている。緊急時の連絡先などは事務室に分かりやすく掲示しており、職員にも周知されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスや食事の量は法人本部の管理栄養士が管理している。また水分量や食事摂取量はチェック表に記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは日当たりがよく、光が入って明るい印象である。壁には入居者が書いた習字や油絵などの作品が飾られている。ベランダには花を植えるなど季節感も楽しめる。加湿器を使用して湿度の調整なども行っている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居する初日は、本人の居室に家族の方も一緒に泊まり、不安を取り除くようにしている。慣れ親しんだ筆筒などの家具も持ちこみ可能である。各居室にトイレが設置されており、よりプライバシーが守られている。		